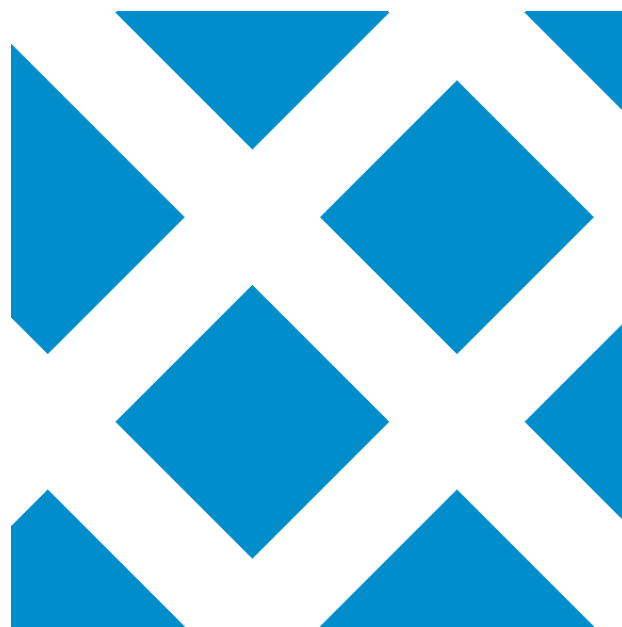


教育委員会事務の点検・評価報告書

(平成25年度対象)



平成26年8月

萩市教育委員会

■ 目 次

1 はじめに

(1) 教育委員会事務の点検・評価について	・・・・・・・・・・ 1
①趣旨	
②点検・評価の対象事業	
③点検・評価の方法	
(2) 教育委員会の活動について	・・・・・・・・・・ 2
①教育委員会会議	
②その他の活動	

2 点検・評価の結果

<事業点検・評価シート>

No.1 特色ある学校づくり推進事業	・・・・・・・・・・ 3
No.2 確かな学力育成事業	・・・・・・・・・・ 5
No.3 児童生徒支援事業	・・・・・・・・・・ 7
No.4 学校施設耐震化事業	・・・・・・・・・・ 9

1 はじめに

(1) 教育委員会事務の点検・評価について

①趣 旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部が改正され、平成20年4月から施行されたことに伴い、教育委員会は、毎年、事務の管理及び執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないこととなりました。

萩市教育委員会では、法の趣旨に則り、「教育委員会事務の点検・評価」を次のとおり実施し、報告書にまとめました。

②点検・評価の対象事業

点検・評価に当っては、萩市将来展望の施策大綱の「自然、歴史、文化をいかした心豊かなひとづくり」中の「幼児及び学校教育の充実」の施策の具体的内容である「義務教育の充実」、「教育行政の推進」に係る事業を対象とし、平成25年度事業の中から次の主要4事業を選定しました。

この報告書における点検・評価の対象とした事業

- ・ 特色ある学校づくり推進事業
- ・ 確かな学力育成事業
- ・ 児童生徒支援事業
- ・ 学校施設耐震化事業

③点検・評価の方法

- ・ 事業点検・評価シートを作成しました。
- ・ 事業点検・評価シートにおいて、事業目的を明らかにするとともに、目標を掲げました。

また、事業の実施状況に係る事業成果を検証し、今後の取組について検討しました。

- ・ 点検・評価の結果について客観性を確保するため、学識経験者で構成する萩市教育委員会事務の点検・評価委員会を開催し、意見をいただきました。

(2) 教育委員会の活動について

①教育委員会会議

平成25年度においては、教育委員会会議を13回開催し、38件の議案を審議、可決しました。内容は、次のとおりです。

・教育行政の基本方針に関する事項	4件
・学校運営に関する事項	2件
・教育委員会規則等の制定又は改廃に関する事項	12件
・教科用図書採択等に関する事項	4件
・人事に関する事項	5件
・各審議会等委員の任命に関する事項	10件
・教育委員会事務の点検・評価について	1件

②その他の活動

- ・学校訪問 小学校 21校 中学校 15校
全小・中学校を訪問し、各学校の教育活動やコミュニティ・スクールの取り組み等について説明を受け、授業参観での感想や意見を述べ、学校施設の現況についても説明を受けました。
- ・委員研修（先進地視察）
市町村教育委員会研究協議会（西日本ブロック）
島根県で開催された文部科学省主催の研究協議会に参加し、研修をしました。
- ・県内委員研修
山口県市町教育委員研修会
山口県主催の研修会に参加し、研修をしました。

[参考資料]

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定

により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

3 点検及び評価の結果

平成25年度 事業点検・評価シート

NO. 1

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	特色ある学校づくり推進事業		
事業目的	地域や学校の特色を鮮明にした教育の実現に向けて、特色ある教育活動推進拠点校（コアスクール）を設定し、創意と活力に満ちた学校づくりを推進する。		
目標	各学校において、地域や学校の実態に応じたコアスクール構想を掲げ、特色ある学校づくりに取り組んでいく。		
事業の実施状況	<p>地域や学校の特色をいかしてコアスクールを設定し、教育活動等において特色のある学校づくりに取り組んだ。</p> <p>各校のコアスクールの取組は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松陰教学: 1校 ・ふるさと学習: 6校 ・コミュニティ・スクール: 2校 ・小・中連携教育: 7校 ・小中一体教育: 2校 ・少人数複式教育: 1校 ・伝統文化の継承・発信: 2校 ・キャリア教育: 4校 ・漁業学習: 2校 ・地域との連携: 6校 ・保育園・小・中連携教育: 1校 ・農業体験学習: 2校 ・表現力育成: 2校 ・学校ボランティア有効活用: 1校 ・一人ひとりを生かす教育: 1校 <p style="text-align: right;">（※重複校有）</p>		
事業の成果	<p><input type="checkbox"/> 地域の特色をいかし学校の実態に応じた特色ある学校づくりを積極的に推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・明倫小学校及び椿東小学校では、松陰教学・松下村塾の志 ・木間小中学校、三見小中学校及び相島小中学校では、小中連携・一体教育 ・大島小中学校では、漁業学習 ・川上中学校及びむつみ中学校では、林業体験学習 <p><input type="checkbox"/> 1校の実践を広く他校に紹介するため、萩市教育研究発表大会での実践発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わくわく農業学習の実践校の発表 むつみ小学校及び紫福小学校 ・「萩・農下村塾事業」の初年度にあたり、萩市の農業体験学習を推進 <p><input type="checkbox"/> 学校の実践を保護者や地域、他校に対して広く発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・萩市教育委員会主催の研修会にて成果を発表（萩東中学校及び須佐中学校） ・各学校だより、学校のホームページ等による地域への情報発信 ・各学校の取組を学校教育課キャビネットへ掲載 <p><input type="checkbox"/> コミュニティ・スクールの指定校の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度6校→平成26年度21校（小中学校全体の58.3%） 地域とともにある学校づくりの浸透 ・今後、萩市内全校において実施の予定 平成27年度32校（小中学校全体の88.9%）、平成28年度36校（小中学校全体の100%）の予定 		

<p>今後の取組</p>	<p>□常に改善を加えながらの特色ある学校づくりの推進（計画、実践、評価、見直しによる実践）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや目標を鮮明にし、常に、評価・改善を加えながら実施する。 <p>□地域とともにある学校づくり、コミュニティ・スクールによる特色ある学校づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりや学校ホームページ、学校支援ボランティアによる発信、学校運営協議会の開催により、保護者や地域住民の理解や協力を得る。 ・学校と学校運営協議会の委員がパートナーシップを取り、様々な取組に参画する。（各種体験活動、行事、児童生徒指導会議、補充学習等） ・保護者や地域の声を反映し、協働体制を構築する。 ・児童生徒にも意識させながら、実践を行う。
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コア・スクールとコミュニティ・スクールの関係（つながり）を明確にし、有意義なものにしていただきたい。 ・拠点校の活動を発表大会だけでなく、日頃から情報交換できる機会を設けていただきたい。 ・合併して萩市になっているので、萩市全体の小中学校で松陰学習をしていただきたい。 ・学校だよりを通じて情報発信をされているが、写真や字の大きさ等を工夫して見やすい紙面にしていきたい。 ・第1次産業の体験もよいが、昔からある地域の産業も体験学習にいかしてもよいのではないか。 ・農業体験で小規模校では人手が足りない学校もあるので、子どものふれあい、情報交換を兼ねて学校の交流を考えてみてはどうか。

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	確かな学力育成事業		
事業目的	教員の授業力の向上と各学校における校内研修の活性化を図るとともに、児童生徒の家庭学習の習慣化や各学校の学力向上に向けた主体的な取組を支えることを通して確かな学力の育成を行う。		
目標	授業改善による授業力の向上や補充学習、児童生徒の家庭学習の習慣化等により、国や県の平均値以上の学力を目指す。		
事業の実施状況	<input type="checkbox"/> リーフレット「萩市の学力向上をめざして」～萩市重点取組事項チェックリスト～の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・「学校の力を伸ばす組織づくり」「分かる・できる・楽しい授業づくり」「家庭と連携した学習習慣づくり」「落ち着いて学習に取り組める環境づくり」の推進 <input type="checkbox"/> 指導主事の学校担当制による学校訪問・・・年間延べ1000回以上の訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な訪問による授業参観・授業へのアドバイス ・校内研修における指導助言 <input type="checkbox"/> 学力向上推進リーダー及び学力向上推進教員による学校訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・兼務校（11校）における授業づくりの指導助言 ・ミニ研修会の実施 <input type="checkbox"/> 自主学習会の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・市教育委員会主催で年7回、金曜日の夜に2時間実施 ・授業実践又は研究実践の紹介 <input type="checkbox"/> へき地・複式教育の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・複式授業の拠点校である弥富小学校校内研修会への参加 <input type="checkbox"/> やまぐち学習支援プログラムの積極的活用 <ul style="list-style-type: none"> ・学期末問題、学力定着状況確認問題等の活用による児童生徒の学力の状況把握 ・基礎的・基本的な学習内容の定着に向けたやまぐちっ子学習プリントの活用 <input type="checkbox"/> 家庭学習の習慣化に向けた取組 <ul style="list-style-type: none"> ・各学校で作成された「家庭学習の手引き」の活用 <input type="checkbox"/> 小規模校同士の集合学習の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・旭・川上地域交流→川上小学校、明木小学校、佐々並小学校 ・山島交流→木間小学校、大島小学校、相島小学校、見島小学校 <input type="checkbox"/> 小規模校と中・大規模校の交流学习の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・小規模校の児童生徒が交流学校における授業や行事に参加（相島小学校→椿東小学校、相島中学校→萩東中学校、見島小学校→椿西小学校、見島中学校→萩西中学校、木間小学校→三見小学校） <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクールの推進 <ul style="list-style-type: none"> ・地域を巻き込んだ学力向上も視野に入れた学習支援ボランティアの活用 		

事業の成果	<input type="checkbox"/> 全国学力・学習状況調査の結果からみる学力の状況（平成25年度 全学校実施） <ul style="list-style-type: none"> ・小学校は、国語A・Bとも全国平均値を上回った。算数A・Bは全国・県平均値をやや下回った。 ・中学校は、国語A・B、数学A・Bで全国・県平均値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 担当指導主事及び学力向上推進リーダー等による研修の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・多くの学校で、校内研修会が活発に行われており、ミニ研修等の授業力向上に係る研修も日常的に実施されるようになった。 ・中学校区内での小中合同研修会や近隣の同校種による合同研修会の実施により研修の活性化も図られるようになった。 <input type="checkbox"/> コミュニティ・スクール実施校の学習支援ボランティアによる支援
今後の取組	<input type="checkbox"/> 教員の授業力向上のため、萩市内における「分かる・できる・楽しい授業づくり」の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・「明確な授業のねらいの提示」「一人学びや子ども同士でかかわり合う時間の確保」「学びの過程が残る板書づくり」「振り返り（まとめの）時間の確保」「授業評価の実施」等、テンポのある授業を目指して学習内容の確実な定着を図る。 <input type="checkbox"/> 毎時間の授業評価による授業改善 <ul style="list-style-type: none"> ・授業後の児童生徒の生の声を聴くことで、児童生徒のつまづきを把握したり、授業のでき（学習内容の定着）を把握し授業改善につなげる。 <input type="checkbox"/> 補充学習の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・学習内容の確実な定着に向けて、放課後や長期休業中を利用した取組を実施する。 <input type="checkbox"/> 学力向上に係る研修会への支援強化 <ul style="list-style-type: none"> ・校内研修会、小中合同研修会、地域合同研修会など学校主体による研修に対して、市教育委員会の研修支援訪問、講師派遣補助、学力向上推進リーダー等の派遣を支援することによって、更に教員の授業力の向上及び研修の活性化を図る。
学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが算数など教科のどの部分でつまづいているのかを把握し、指導をしていただきたい。 ・授業内容は非常にわかりやすいよう工夫されているが、科目によっては児童生徒に個人差がある。授業がわかると意欲も出て生活態度も変わるのでフォローをしていただきたい。 ・学力は向上しており、評価できる。大規模校、小規模校でそれぞれ良い面があり点数だけで評価するのは難しいが、先生方は一生懸命取り組んでおられるので評価できる。 ・指導主事の学校訪問等により、授業力向上に力を入れておられることは評価できる。児童生徒の個人差に対して委員会としてサポート体制を強化していただきたい。

施策名	義務教育の充実	担当課	学校教育課
事業名	児童生徒支援事業		
事業目的	いじめや不登校等の生徒指導上の諸問題の未然防止を促進し、問題を抱えた児童生徒及び保護者に対して支援を行う。		
目標	<p>萩市の小中学校の生徒指導上の問題の解決、不登校、児童虐待等の困難な課題に対して、専門的かつ継続的に対応するため「子ども相談・支援室」（萩市教育委員会内）が中心となり、子どもに関わる相談や支援の充実に努めていく。そして、前年度より発生率等を低下させる。</p> <p>【平成24年度児童生徒100人当たりの発生率・出現率】</p> <p>不登校 小学校0.18 中学校1.18</p> <p>※（不登校児童・生徒数／全児童・生徒数×100）</p> <p>いじめ 小学校0.27 中学校1.10</p> <p>暴力行為 小学校0.00 中学校0.47</p>		
事業の実施状況	<p>□子ども・相談支援室の活動（相談業務、サポート業務）</p> <p>《相談業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校等に係る相談、萩輝きスクールとの連携した学校復帰への取組 ・いじめ、不登校、問題行動等のケース会議の開催 ・臨床心理士の相談業務の連絡調整 ・就学前の幼児の状況把握と発達相談や教育相談業務 <p>《サポート業務》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ、問題行動等生徒指導上の諸課題への対応 ・ひきこもり児童生徒に対する家庭訪問等個別の支援 ・児童虐待に関する対応（子育て支援課、児童相談所との連携） ・中卒進路未定者の把握と萩ふれあいスペース事業との連携 <p>□萩輝きスクールを拠点とする不登校児童生徒への支援活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育相談員6名、非常勤の臨床心理士1名の配置 ・不登校児童生徒及び保護者への通所、家庭訪問、相談室登校への支援 ・臨床心理士によるカウンセリング（年間7回） ・生徒指導・教育相談に関する訪問指導（全小中学校を訪問） <p>□萩市いじめ防止基本方針策定</p>		
事業の成果	<p>□平成25年度不登校児童生徒数 18名</p> <p>□平成25年度児童生徒100人当たりの出現率・発生率</p> <p>※（ ）内は、対前年度比</p> <p>不登校 小学校0.18（±0） 中学校1.17（-0.01）</p> <p>いじめ 小学校0.46（+0.19） 中学校1.34（+0.24）</p> <p>暴力行為 小学校0.00（±0） 中学校0.50（+0.03）</p>		

	<ul style="list-style-type: none"> ・「不登校」については、中学校が微減している。中学校においては、3年前の約半数となっている。 ・「いじめ」の発生率は若干上がっているが、これは各学校における「いじめ」への意識が高まり、認知件数が多くなっているためである。どの事案も認知時から積極的かつ適切に対処している。なお、これらの事案はすべて解消済みである。 <p>□平成25年度輝きスクール通所生徒13名（内 学校復帰者数2名）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生（9名）の進路先 高校進学9名（全日制6名 通信制3名） <p>□萩市派遣スクールカウンセラーの派遣 ※（ ）内は、対前年度比</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な派遣先 小学校5校、萩輝きスクール ・4時間×年間73回＝年間292時間分の派遣（＋76時間）
<p>今後の取組</p>	<p>□不登校未然防止に向けた対策の一層の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導主任会、教育相談担当者会議等における研修会の実施 ・萩輝きスクール相談員の資質の向上を目的とした研修機会の充実 ・萩輝きスクールから学校、家庭、地域への積極的な情報発信 <p>□萩市派遣スクールカウンセラーの活動の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小学校、萩輝きスクールへの派遣回数数の拡充要望 ・いじめ問題に対する緊急時の対応 ・各校配置スクールカウンセラーのスーパーバイズ ・各小中学校の教育相談担当に対するアドバイス <p>□萩市スクールソーシャルワーカー（SSW）の派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不登校や虐待等困難な環境を抱える家庭への支援
<p>学識経験者の意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校等の生徒のフォローは、義務教育が終わったら終わりではなく、情報提供するなど関係機関と連携を強化していただきたい。 ・全国的には、メール、ツイッター、ライン等の情報ネットを利用したいじめ、犯罪等が増加しているので、本市においても未然防止に向けた取組が必要ではないか。

施策名	教育行政の推進	担当課	総務課
事業名	学校施設耐震化事業		
事業目的	学校施設は、児童、生徒が1日の大半を過ごす生活の場であるとともに、災害時における地域住民の避難場所としての役割を果たすことから、耐震性が確保されていない学校施設の耐震化を実施し、安全・安心な学校教育環境の整備を図る。		
目標	耐震診断の結果、大規模地震により倒壊又は崩壊の危険性があると評価された建物（構造耐震指標[Is 値]0.7未満）について、耐震補強工事や改築工事を行い、平成27年度末における学校施設の耐震化率100%を目指す。		
事業の実施状況	<input type="checkbox"/> 改築事業 <ul style="list-style-type: none"> ・明倫小学校……校舎改築事業（平成24年度～平成25年度） ・見島小学校……校舎改築事業（平成25年度～平成26年度） <input type="checkbox"/> 耐震補強事業 <ul style="list-style-type: none"> ・明倫小学校……校舎（耐震補強工事）←旧萩商業高等学校校舎の一部 ・白水小学校……屋内運動場（耐震補強工事） ・佐々並小学校…校舎（耐震補強工事） ・佐々並小学校…屋内運動場（耐震補強工事） ・椿東小学校……校舎（補強計画及び実施設計） ・白水小学校……校舎（補強計画及び実施設計） ・むつみ小学校…校舎（補強計画及び実施設計） 		
事業の成果	<input type="checkbox"/> 明倫小学校改築事業については、隣接する旧萩商業高等学校地内に普通教室棟校舎を新築するとともに旧高校の校舎、体育館、プール等を改修し、老朽化した木造校舎から移転が完了した。 <input type="checkbox"/> 見島小中学校改築事業については、小中併設校舎整備の実実施設計業務が完了し、まず給食棟の改築工事に着手した。 <input type="checkbox"/> 白水小学校耐震補強事業については、屋内運動場の耐震化が完了した。 <input type="checkbox"/> 佐々並小学校耐震補強事業については、中学校の統合により未使用となった旧佐々並中学校施設の耐震化を図り、移転が完了した。 ★耐震化率 <u>平成25年4月1日 63.2%</u> <div style="text-align: center;">↓</div> <u>平成26年4月1日 73.1%</u> （全棟数93棟…うち耐震性がある建物68棟）		
今後の取組	平成27年度末における耐震化率100%を達成するため、大井地区、見島地区、明木地区及び福栄地区の学校施設については、小中併設や統合による改築工事及び改修工事を実施し、耐震化を図るとともに小中連携教育を推進する。また、耐震性の無いその他の学校施設については、耐震補強工事を実施し耐震化を図る。		

学識経験者の意見	<ul style="list-style-type: none">・あらゆる災害に対応できる避難所としての役割を果たせるように、計画に基づいて耐震化を進めていただきたい。・施設の耐震化だけではなく、備品類の転倒防止対策も実施していただきたい。・耐震化事業の取組は評価できる。・通学路の安全確保や山に囲まれている学校もあるので、がけ崩れ対策についても配慮していただきたい。
----------	---